

北浦町古江地区津波避難施設整備に関する意見募集／意見の概要と本市の考え方

○意見募集期間：令和8年2月26日（木曜）～令和8年3月18日（水曜）

○結果：提出者9名 提出された意見13件

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
1	避難人数について	津波避難想定人数（600人）について 北浦町古江地区の人口は、約1200人ですが、今回の津波避難想定人数600人とした理由（古江地区〇〇〇人、観光客〇〇〇人）を教えてください。	今回の津波避難施設へ避難すると想定される人数は、古江地区の全住民が新たに整備する津波避難施設へ避難するわけではなく、近隣の指定緊急避難場所へ分散避難するため、古江地区の全住民が対象ではありません。 津波避難困難エリアとして抽出した範囲内の住民約500人、就労者及び観光客等約100人の計600人を津波避難想定人数としています。
2	避難時間について	津波避難想定人数の避難時間について 津波避難想定人数（古江地区、観光客）の津波避難施設迄の避難時間（想定）を教えてください。	宮崎県の想定では、地震発生後に沖合30mで水位が1m上昇するまでの時間が17分と想定されていますので、今回整備予定の避難施設に避難を必要とする方々は、17分以内に避難が完了する位置に施設を計画しています。
3	避難場所選定について	津波避難施設を北浦保健福祉センター西側駐車場とした理由を教えてください。	「きたうらら海市場」周辺の就労者や観光客等、要配慮者利用施設に該当する北浦診療所や在宅介護支援センター等から避難可能な位置であるとともに、可能な限り延岡市有地で検討した結果、北浦保健福祉センター横の駐車場部分を最終的な整備位置として、地元説明会等を通して地元へ同意を得た箇所となります。
4	避難場所滞在時間について	津波避難施設での避難滞在時間について 津波避難施設へ避難後の避難滞在時間（安全と判断される迄）（想定）を教えてください。	気象庁による津波注意報や津波警報等が発表され、大きな被害が確認されない場合は、発表が解除されるまで継続して避難していただくこととなります。 一方で、大規模な被害が発生した場合は、数時間～数日にわたる可能性があります。 そのような事態となれば、市としては、最善を尽くして、自衛隊など防災関係団体と連携して災害対応を行います。
5	事業費について	津波避難施設整備費用（5億6千万円）については、国土交通省の（防災・安全交付金）を活用して整備するとありますが、費用は全て国の交付金で賄い、延岡市の支出0円で良いですか。	国の交付金に関しましては、国の交付対象事業費の2/3または1/2が交付される予定です。残りの費用につきましては、過疎債等の起債を活用しながら事業を行っていく予定であります。市の一般財源からの支出も必要となります。
6		津波避難施設整備の概要を見させていただきました。駐車場までの交通便（道幅など）は大丈夫なのか？気になります。又、避難する際にお年寄りの方、足や身体が不自由な方は避難出来るのか？と思います。車椅子利用の方は良いのかもしれませんが、それ以外の方にはどうなのかと。エレベーターを設置するには費用がかかると思いますが、階段で登れない方への配慮もあると良いと思います。	地震・津波発生時は、原則徒歩での避難となり、整備地は地区内では対面通行が可能な道路幅の広い県道に面している場所となります。 エレベーターにつきましては、地震発生の際には、停電により使用できなくなることが想定されるため、設置はしません。 足が不自由な方や車椅子利用の方が避難できるように今回の施設整備ではスロープの設置を行う計画としています。
7	避難経路・施設整備について	冬場の対策として一面か二面に壁を設けては身障者専用の駐車場の確保が必要では仮設の便所、水道等は	津波避難施設は、津波が通過しやすいように壁を設置せず、柱だけで構造を支える構造となっています。 避難フロアにつきましても同様に、壁の設置は計画していませんので、各自での防寒対策は必要となりますが、避難時の降雨や日射対策として屋根の設置を計画しています。 地震・津波発生時は、原則、徒歩での避難となりますので、駐車場の必要性については検討していません。 トイレ、水道等については、あくまでも緊急的な一時避難場所ですので、整備等は予定しておりませんが、簡易トイレや備蓄品（水など）を施設内に整備予定の防災備蓄倉庫内に配備する予定です。
8	施設利用・施設整備について	避難施設はありがたいのですが、日常的に使えないと、いざというときに避難しないと思うので、日常使いができるようにして下さい。 それと、隣の社協が避難場所で、浜中地区には公民館がないので、建設時に社協を崩すようなら台風や豪雨の時に、避難できる複合施設を早急につくって下さい。	日常的な活用につきましては、避難訓練等を行っていただきながら、必要に応じて北浦総合支所や古江地区と協議を行っていくこととします。 施設建設時に北浦保健福祉センターを解体する必要があるかは、実施設計を進める中で検討していくこととなります。 その検討の中で、複合施設の必要性など、地元の皆様のご意見を伺いながら検討していくこととします。
9	肯定的な意見	私の住んでいる所は、五ヶ瀬川沿いの高台であり津波の心配はありませんが、東北、能登半島地震の津波被害の様子を見ると心が痛みます。古江地区に住んでおられる市民の安全、命を守るため早急な施設整備を行なってほしいと思います。	この施設は、北浦古江地区の住民の方々や近隣の就労者、観光客等を津波から命を守るために必要な施設となります。完成に向けて鋭意取り組んでいきます。
10		避難施設整備について賛同します。	
11		意見なし。	
12	避難場所整備について	北浦町古江地区津波避難施設整備については賛成です。 延岡は浦城～直海まで海岸沿いは大津波の危険が大きいと思います。 1ヶ所に高額な整備費を使わず全地区に高台だけでも早期に整備したほうが良いと思います。	浦城～直海につきましては、すでに津波の想定範囲内に津波時の指定緊急避難場所として避難ビルや高台を指定しております。今回の津波避難施設につきましては、周辺に避難ビルや高台がない箇所につきまして津波避難施設を整備するものです。
13	早期工事着手・無作為抽出について	海の近くののに高台がない、と言うのに驚きました。早急に工事にとりかかるべきだと思います。 私はこの場所に行った事はありません。 意見を求めるなら無作為に選ばず、地域の方々、周辺の方々を対象に話しを聞くべきじゃないでしょうか。	北浦町古江地区の周辺には、8箇所の避難高台を指定していますが、避難速度の見直しなどの結果、古江地区の中心部に津波避難施設が必要との判断に至りましたので、今回の津波避難施設整備を計画しました。 住民の方々や近隣の就労者、観光客等を津波から命を守るために必要な施設となりますので、出来るだけ早い完成に向けて鋭意取り組んでいきます。 意見募集については、現時点では無作為抽出の方々にもご意見をうかがうことになっていきますので、ご理解ください。 なお、施設周辺の方々に対しましては、計画段階から地元説明会等を通して説明しており、同意を得て地元の意見も取り入れた整備案となっております。